

復興水産加工業販路回復促進センター
2023年4月17日（月）

01 | 開催趣旨

復興水産加工業販路回復促進センターでは、東日本大震災被災地域の復興を目的に、水産業界における販路開拓及び情報発信の拡大を図るべく、2015年から実施している展示商談会を、今年は初めて福島県郡山市の「ビッグパレットふくしま」で開催します。

前回に引き続き「繋がる・繋げるリアル・オンライン商談会」をテーマに掲げ、リアル展示商談会とオンライン商談会を開催し、多くの商談機会の創出を目指して参ります。

02 | 開催概要

催事名 東北復興水産加工品展示商談会2023 ～繋がる・繋げるリアル・オンライン商談会～

主催 復興水産加工業販路回復促進センター
【構成員】全国水産加工業協同組合連合会、大日本水産会、日本水産資源保護協会、東北六県商工会議所連合会

出展対象 青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県及び千葉県の水産加工事業者等

出展者数 130社(予定)

バイヤー対象 水産、食品バイヤー、業界関係者等

バイヤー数 個別商談：130社(予定)、来場：5,000名(予定)

リアル展示商談会

開催期間 2023年9月26日(火)～9月27日(水)

商談方法 ブース出展、及び対面型個別商談
展示会場 | ビッグパレットふくしま

オンライン商談会

2023年8月21日(月)～11月30日(木)

オンラインによる非対面型個別商談
商談方法 | オンラインツール(Zoom等)

03 | 2022年開催実績(リアル展示商談会+オンライン商談会)

出展者数

100社

バイヤー数

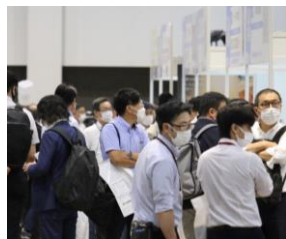
来場：3,803名
個別商談：**68**社

商談件数

ブース商談：**2,000**件以上
個別商談：**477**件

個別商談成約率

17.2%



04 | 展示商談会の特徴

Point1 リアル+オンライン双方のメリットを取り入れた開催

五感に訴えたコミュニケーション効果の高いリアル(対面)商談と、商談場所・時間が自由に設定できるオンライン(非対面)商談の双方を取り入れ、多くの商談機会の創出します。

Point2 三陸・常磐の水産加工品等に特化した商談会

東日本大震災で被災した地域の復興支援・販路開拓を目的に、三陸・常磐の水産加工品等を扱う水産加工事業者等を出展主対象とした本展示商談会では、参加・来場するバイヤーの目的が“三陸・常磐の水産加工品等”であることから、ミスマッチングの少ない、効率的な商談を可能としております。

Point3 テーマ毎に専門家を招きセミナーを実施

商品開発のポイント、効果的な商談方法、展示商品の上手な見せ方、水産業界の傾向・トレンド等、水産業界及び水産加工事業者等の皆様に役立つセミナーを行います。

Point4 複数回の商談とサポートで成約アップが期待

オンライン商談では、単に商談の場を設けるだけでなく、希望・必要に応じて複数回の商談(商品紹介→商談)を実施し、さらに全商談にファシリテーターが同席することで、円滑でコミュニケーション効果の高い商談をサポートします。

Point5 相性判断による個別商談会(事前予約制)

個別商談会では、バイヤーの興味をできる限り高めるべく、水産加工事業者等の会社・商品情報を細部にまとめてバイヤーに提案を行っております。さらに独自の商談システムと専任コーディネーターによる丁寧かつ相性の良い商談を設定することで、成約率の向上に貢献します。

Point6 水産の“旬”なテーマに触れた商品紹介

SDG's、食品ロス対策、日持ち改善、小分け化、簡便調理等の消費者やバイヤーが求めるニーズに沿ったテーマ別商品を、展示商談会入口付近に温度帯に分けて展示コーナーを設置することで、バイヤーが探しやすく、関心が高まる商品紹介を行います。

Point7 各分野のアドバイザーがアドバイス

本展示商談会では、商品開発及び販路開拓等の専門家である復興水産販路回復アドバイザー(54名)が、出展する水産加工事業者等の希望に応じて、リアル展示商談会、個別商談会等のサポートを行うことで、出展者の展示会・商談スキルの向上に貢献します。

取材のお問い合わせは —